

ファンタステック4

令和3年1月13日(水)
西東京市立芝久保小学校
4学年 学年通信

道徳授業地区公開講座の授業を実施しました

本日5校時に、全学級で道徳授業地区公開講座の授業を行いました。今年度は、残念ながら保護者の皆様に参観していただくことができませんでしたので、今日の授業を通して、子どもたちに考えてほしいことをお伝えします。御家庭でも、本日の授業についてのお話をしていただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

なお、授業の様子を、近日中に、ホームページに掲載しますので御覧ください。

1 主題名 ゆるす心の広さ (相互理解、寛容)

2 ねらい

広い心で自分と異なる人の立場を受け入れようとする判断力を育てる。

教材「へらぶなつり」のあらすじ

主人公の明は、へらぶなつり大会で優勝したいあまり、父親の宝物である「へらうき」を勝手に持ち出してしまう。そして、思わぬアクシデントにより、明の友達がへらうきがとれない状態にしてしまった。

■御家庭で話題にしていきたいこと

4年生は、自他の立場や考え方、感じ方などの違いをおおむね理解できるようになりますが、ともすると違いを受け止められずに感情的になったり、それらの違いから対立が生じたりすることも少なくありません。

相手の立場や考え方を理解できれば、歩み寄ろうとする心の成長も見られる時期ではありますが、互いの相違に対する気づきを促すには、教師や親などの周囲の大人の手助けが必要です。望ましい人間関係を構築するには、自分の考えを相手に伝えるとともに、自分と異なる考えについて、その背景にあるものは何かを考え、耳を傾けることが大切です。

御家庭でも、相手の言葉の裏側にある思いを知り、相手への理解を深め、自分もさらに相手からの理解が得られるように思いを伝える相互理解の大切さを、機会のあるごとにお話ししていただけると幸いです。